

◆スコアシートの記入方法

- 1 マッチ（試合）を始める前
コートに入場する前に、プレーヤー名などが記入されていない場合は予め記入しておく。
- 2 マッチ（試合）開始時
 - ① S（サーバー）、R（レシーバー）をトスの結果にしたがい記入する。
 - ② L（左）、R（右）（マッチ（試合）開始時に審判台から見たプレーヤーの位置が左か右か）をトスの結果にしたがい記入する。
 - ③ スコアの「ラプ」を表す数字、「0」をマッチ（試合）開始時の最初のサーバーの欄と最初のレシーバーの欄の左端の得点空欄に記入する。
 - ④ 開始時刻－「プレー」のコールでマッチ（試合）を開始した時刻を記入する。
- 3 マッチ（試合）中
 - ⑤ もしサービングサイドがラリーに勝ったら、新しいスコアを現在記入しているプレーヤーの得点欄の右の空欄に記入する。そして、もしレシービングサイドがラリーに勝ったら、サービスオーバーとなり、そのサイドの、今度サーバーになるプレーヤーの得点欄に新しいスコアを記入する。すなわち、サービス権を失ったサイドのスコアが記入してある右の空欄で、サービス権を得たサイドの今度サーバーになるプレーヤーの欄に新しいスコアを記入する（つまり、スコアが動いたり、サービスオーバーになった場合は必ず一つ右の空欄を使いスコアが記入されることになる）。
 - ⑥ シングルスもダブルスもサービスは1回のみである。
 - ⑦ スコアが20点オールになったら、スコアの記入されている右の空欄に斜線を引く。
 - ⑧ W（警告）、F（不品行な振舞いによるフォルト）、D（失格）、I（けが）、S（中断）、ケケン（棄権）の記号を該当するサイドの、該当するプレーヤーの、現在のスコアの右の空欄に、そして競技役員長（レフェリー）を呼んだときは現在のスコアの数字または記号（W、Fなど）の上または下にレ（レフェリー）の文字を記入する。
 - ⑨ 上記の事態についての詳細をスコアシートの下の方の空いたスペースに書く。もし、スペースが足りないようなら、「裏面を見よ」などの注をつけて、スコアシートの裏に書く。
- 4 ゲーム終了時
 - ⑩ 終了したゲームのスコア（両サイドのスコアの間にスラッシュを入れて）を、一行おいて次の欄に記入し、それを丸で囲む。
 - ⑪ 終了したゲームのスコアをスコアシートの上部の定められた欄に記入する。
 - ⑫ 次のゲーム開始時の最初のサーバーの欄及び最初のレシーバーの欄に上記の③と同様に、「0」を記入する。
 - ⑬ もし必要なら「S」（サーバー）、「R」（レシーバー）を変える。
- 5 マッチ（試合）終了時
 - ⑭ プレーヤーと握手した後、勝者署名をもらう。
 - ⑮ 終了したゲームのスコアを記入し、それを丸で囲む。
 - ⑯ 終了時刻－「ゲーム」のコールでマッチ（試合）が終了した時刻を記入する。
 - ⑰ 終了したゲームのスコアとゲームカウントをスコアシートの上部の定められた欄に記入し、勝ったサイドのプレーヤー名を大きく丸で囲む。
- 6 マッチ（試合）終了後
 - ⑱ 試合時間（マッチ（試合）が行われていた時間）、使用シャトル数等を記入する。
 - ⑲ スコアシート下の主審署名欄にサインをする。
 - ⑳ 競技役員長（レフェリー）のスコアチェックを受け、サインをもらい、スコアシートを進行に渡す。
- 7 その他
 - ・ 先にスコアを記入して、そして次に顔を上げてアナウンスする。
 - ・ スコアはゲームごとに改行して記入する。（続けて書かない）
 - ・ マッチ（試合）中に与えたW（警告）やF（フォルト）などの内容を簡略にスコアシートの空いた場所に記入し、スコアチェックを受ける際レフェリーに報告する。
 - ・ サービスコートの間違いを訂正したときは、「C」を次のように記入する。
 - ① サービスコートの間違いをしたサイドの方に
 - ② サービスコートの間違いが訂正されたスコアの欄に
 - ③ サービングサイドが間違をした場合：スコアの上か下の空欄に記入する
 - ④ レシービングサイドが間違をした場合：（2列ある内の）第1列目に記入する
 - ・ スコアシートは主審がマッチ（試合）の状況を正しく把握するための手助けとなる一つの道具なので、明瞭で判読しやすい文字でいろいろな情報をできる限りわかりやすく記入する。
 - ・ 記入方法が不明なときは、マッチ（試合）終了後必ずレフェリーの指示に従い記入する。